

Magazine of Teikyo  
Alternative Life

[フレア]  
TAKE FREE

# Flair

September 2009 / Autumn  
Vol.  
**75**  
THE TEIKYO SELF

## CONTENTS

02 This is my style.

こんな風に、暮らしています

14 Good Fellows.

やっぱり仲間が一番です

16 Surprise Us.

先生が、教えてくれるコト

17 What's Up?

いま、何やってる?

18 Our Recommend!

みんなの、カルチャー

20 Good Health.

やっぱり健康が一番です

21 Notice Board.

大学からのお知らせです



特集

# アートのじかん。



TEIKYO



[www.teikyo-u.ac.jp/flair/](http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/)



発行月：2009年9月（年4回発行）  
発行：帝京大学本部大学PR推進室 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-4162 FAX 03-3964-9189 E-mail: post@med.teikyo-u.ac.jp  
URL : <http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/> ご意見・ご要望をお待ちしております。郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。 © 帝京大学 2009 禁・無断転載



相模湖キャンパスにて

File:12

name: 小西 航さん  
 grade: 4  
 hobby: ダンス  
 class: 薬学部薬学科

勉強もブレイクダンスも全力投球が信条です。

「昨日もダンスの練習をして終電で帰り、その後3時間勉強して、今日も朝イチで出てきました」と笑顔で語るのは小西航さん。勉強と大好きなダンスを両立させるべく、スケジュールは分単位だ。それでも、絶対に勉強には手を抜かない。そもそも、薬学部を選んだのは、将来安定した仕事を持ち、あたたかい家庭を築きたいから。そんな生真面目さが、「カラーズ」というダンスグループに所属し、30人のリーダーとして信頼される理由のひとつだろう。

小西さんの得意技は、ブレイクダンスの代表的な技、トーマスフレア。両手で全身を支えながら回転する技で、自己最高は14回転だ。日々さらなる高みをめざし、練習に明け暮れている。



原色やカラフルなものが大好きという小西さん。ひと目惚れして買ったヘッドホンも、大好きな青を選んだ。



福岡キャンパスにて

File:11

name: 高田遥佳さん(右)  
 高田百合絵さん(左)  
 grade: 1  
 hobby: 陸上競技  
 class: 福岡医療技術学部  
 理学療法学科

理学療法士とインカレふたりが志す夢の形。

同じ名字のふたりは、互いを「ゆりちゃん」「はるちゃん」と呼び合う。北海道出身で陸上1筋の百合絵さんと、九州出身で吹奏楽部所属だった遥佳さん。一見接点がないふたりだが、共通の夢がある。それは、理学療法士になること。大学のキャンパスで出会ってから数ヶ月。ふたりは、もうひとつの夢を、一緒に追いかけることとなった。

陸上部に入学した百合絵さんの記録係を手伝ううち、遥佳さんはいつのまにかマネージャーに。「ひとりでは心細いだろうし、記録を取るだけでも心強いかなと思って」と、照れ笑いを浮かべる。すかさず、百合絵さんが「頼りになるんです!」と信頼の絆は強い。二人三脚で歩き出したふたりの夢は、インカレ出場だ。



「走りやすい靴で」と母親が買ってくれたシューズと、陸上部の先生がくれたストップウォッチは、ふたりの必需品。



(左) 日比野さん主催の休耕田の棚田で行うサッカー大会も開催され、毎回熱い闘いが繰り広げられている。(右) 今回日比野さんの取材で訪れた新潟県松代町の「明後日新聞社」内では、さまざまな日比野さんアートを楽しめる。ダンボールアートは、「自分らしさを出すには素材から人と違うものを」と始めた。



「『アート』という言葉はよく耳にするけれど、何となく敷居が高い…」と思っている人も多いのでは? でも実は、こんなに身近で楽しいものは他にないのです。今回は、ちょっと見方を変えるだけで価値観が変わる、素敵なアートの世界をご紹介します。「こんなアートもあるんだ!」なんて新しい発見ができること、必至です。



(上) 2003年より始まった「明後日朝顔」。秋にとれた種は翌年も植えられる。(中) 20校くらい下見をし、一番小さくて木造の廃校を選んだ。(下) 誰でも自由に書きこめる朝顔の観察日記を眺める日比野さん。

「アートって、目的じゃなくて自分の気持ちを相手に伝えるための手段なんですよ。だから例えば文章を書いたほうが伝えやすい人は小説家になればいいし、身体を動かしたほうが伝えやすい人はダンサーになればいい。その中で、僕はアートを選んだというだけです」

日本を代表するアーティスト、日比野克彦さんは静かに語る。自分の気持ちを相手に伝えることで返ってくるリアクション、それは人間が誰しも感じる「生きていく」という実感につながっていく。彼にとってのアートは、そのための手段なのだ。

「写実的な絵のすべてから作者の気持ちが汲み取れるかといえどもそうではないし、不格好な絵でも笑えたり、あたたかい気持ちになったりといういろいろな感情が伝わってくるものもある。絵には、上手も下手もないんです」

そこには、学校教育に組み込ま

まれた美術に対する彼なりのアンチテーゼがある。算数の授業で〇か×かの答え合わせをしたあとに「絵を描きましょう」と言われても、子どもたちは絵にも正解を求めたくなくなってしまふ、と。「僕の考え方が」と前置きをした上で、彼は続ける。「おじいちゃんが描いたリンゴはおじいちゃんっぽくて、子どもが描いたリンゴは子どもっぽい。でもみんな、正しいリンゴの答え合わせをしちゃうんですね。人と違う絵を描くことに、抵抗感を覚えてしまふんです」

本当に自分らしい絵とは何か。高校を卒業するまでは、自分でもよくわからなかったという。「でも大学は、僕と同じようにデザインをやりたいと思って入ってきたヤツばかりじゃないですか。そうするとこいつはデッサンがうまい、色のセンスがいいなど、各々の「らしさ」が見えてくる。そこで「これ、日比野っぽいね」と言われてはじめて自分のスタイルを認識するわけです。やはり作品を見て評価してくれる人

は必要だと思いました」人がいてはじめて、日比野さんの表現は成立する。それは、7年前から参加している、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009。にもリンクするものがあるのかもしれない。廃校になった小学校の屋根までロープを張り、朝顔のツルで壁を覆うという活動も、元は地元の人たちと交流するための手段だった。最初は否定的だった人たちからも協力者が増え、今では全国に広がっている。

「かつてアートは祭事だったんです。教会ならステンドグラス、日本なら木や森。目には見えない神を具現化するのがアートの力で、祭の原点。昔はどこにでも土地のつながりや住民同士の交流がありました。今は村祭や行事も少なくなってきた。それを本来の姿に戻していくというのが、21世紀の美術だと僕は思っています」

いつの間にか美術館の中に閉じ込められていたアートを解放すべく、彼は今日も走り続ける。

アーティスト  
日比野克彦さん  
Katsuhiko Hibino

1958年岐阜市生まれ。東京芸術大学大学院修了。大学在学中にダンボール作品で注目を浴び、国内外で個展などを多数開催。近年は地域の特性を活かしたワークショップなどを積極的に行う。

特集

# アートのじかん。

書道、グラフィックデザイン、写真…

見ための形も、色も、取り組む人たちが違うけれど、みんなアートなんです。

みなさんのアート心は、どれに反応する!?

Everyone Loves Art!!

あれもこれもみんなアートです



理工学部 総合基礎科目  
井手真 講師  
Makoto Ide

1977年、東京芸術大学美術学部工芸科卒業。倉敷紡績株式会社および各デザインプロダクションを経て、91年に井手真デザイン室を設立。97年より帝京大学理工学部講師。



文学部 日本文学科  
岡本直人 講師  
Naoto Okamoto

1980年新潟大学卒業。2004年から帝京大学講師。97年、独立書展45周年記念賞受賞。他。(財)独立書人団 審査員。専門分野は漢代書法。

グラフィックデザインの専門家から見た、アートの可能性と、表現することの楽しさ。

## Graphic Design

●グラフィックデザイン



(右) 不透明な色紙を合わせて、透明感を表現したという課題。(左) 学生が授業で取り組んだカラーズの課題作品。「時間をかけた作品は、それが伝わってくる」と井手講師。

自分の手を動かして、アートのな「感覚」を磨く。

理工学部で「感性工学論」と「空間芸術論」を受け持つ井手真講師。彼が学生だった70年代後半はグラフィックデザインという言葉もまだ新しくなかった。そんな当時を「アイデア勝負で、新しいカルチャーがどんどん生まれた時代」と振り返る。

「その時代に生きているからこそ、画家やデザイナーの世界観が生まれる。例えば、ビートたけしもそう。彼が漫才、映画監督、作家とマルチに活躍できたのは時代の追い風があったから。今は才能があっても、メディアが分散されて小粒ですね」

一方で「金沢21世紀美術館」のように、造る側と観る側が双

「書」は、最も東洋的なアート。自然と一体化することが、大きなテーマとなる。

## Shodo

●書道



(右) 1900年以上前、中国後漢で、道路が開通したときの記録。十代からこれまで何度も臨書した。(左) 円錐形の毛筆が、書道の特徴。平筆ではなく、この筆を使うことで多様な表現が可能になる。

相反する世界を理解する、それが「書」の世界。

「西洋と東洋のアートの歴史的な違いの一つに自然観があります。自然と対峙して、一つひとつ解決していくのが西洋絵画だとすると、水墨画に代表される東洋絵画は、自然と一体化することが大きなテーマなんです」

そう語るのは、書家の岡本直人講師。先生によると、「書」もまた、東洋の文化が生んだアートなのだという。「東洋の文化は相反する概念で成り立っています。大小、長短、表裏、…そして虚・実。しかしこの相反には、基準がない。お互いがお互いによって存在する。この基準のなさが書の解りにくさであり、魅力でもあります。書く(重)

ということ、書かない(白)ことを含めて初めて「書く」ことになるのです」

「書以外のいいものに触れることも大切」と先生は言う。「美術、音楽、スポーツ、文章、映画、…とにかく美しいもの、惹かれるものに接してみる。そしてそのなかに書をおいてみると、他分野との共通性や特性が見えてくるのです。私自身も、つい先日ロダンのレプリカを見ました。若いころにも見たはずなんです。若いころにも見たはずなんです。その流動美に参りました」

「書の基本は、水平・垂直と円です。これは筋肉の若い頃に戻るとするといいですね。音楽や運動と同様」と先生。もともと東洋的なアートである「書」の世界の奥深さに、いまなお墨を磨り続ける。

方向に楽しむインタラクティブな作品が増えてきたのは、最近の。嬉しい。傾向。とも付け加えた。

井手講師の授業は、学生たちの「感性を磨く」のが狙いだ。「彼らには、硬いとかやわらかいといった感覚を色紙やCGなどで表現する課題や、不透明な色紙を合わせて透明感を表現するといった課題に取り組んでもらっています。感性を豊かにするために、自分の手を動かして考えることが大切なのです」

そして、「感性を磨く」には、「若くて頭がやわらかい、学生時代が最適」という。最近では情報収集が簡単になりすぎて、実体験はやっぱり違う。

「学生には、いろいろなものを実際に体験し感じてほしいです」

様々な手段を使って自分を表現すること、それが、アートの醍醐味。帝京大学の学生も、各々の感性を活かしてアート活動に取り組んでいます。

## 学生も、アートしています。



### フィルムの質感の、とりこになってしまいました。

#### 写真部

八王子キャンパス



- 1 文学部社会学科4年  
藤野豊田さん  
Ruita Fujino
- 2 経済学部経済学科3年  
大谷純さん  
Jun Otani
- 3 法学部法律学科3年  
大澤勇貴さん  
Yuki Osawa

現像する瞬間の、ワクワク感がたまらなく好き。

「アナログの質感が好き。異常なまでに、アンチデジタルなんです」と笑うのは、写真部の藤野さん。写真を始めたのは大学からだが、すっかりハマってしまった。今となっては「卒業したら部室内の暗室が使えないのが悩ましい」という。写真部のメンバーが撮っているのは、基本的にはモノクロ写真。部室内にある暗室で、現像からプリントまで行うというからかなり本格的だ。

デジタルカメラが主流になった昨今、「現像するまで何が写っているのかわからない」というのは、かえってワクワク感が高まるものなのかもしれない。部長の大澤さんは、「こんな写真撮ってたんだ、と驚いたり、喜んだり。現像液から被写体が浮かび上がってくるときが、一番楽しみですね」



撮影は基本的には個人作業だが、部室で作品を見せあうことも少なくない。代々受け継がれている部室には、モノクロの写真が一面に飾られている。ちなみに部室の奥の扉を開けると、暗室が用意されている。部員が共同で使うため、担当者が整理整頓を心がけているそう。

### やりたいこと=藝術、という定義もアリなんです。

#### 藝術部

宇都宮キャンパス



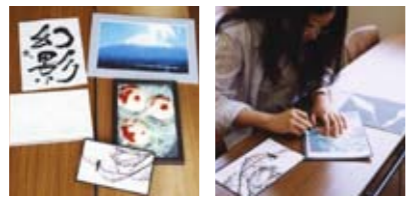
- 1 理工学部航空宇宙工学科3年  
喜田耕介さん  
Kosuke Kida
- 2 理工学部バイオサイエンス学科3年  
中田智己さん  
Satoru Nakata
- 3 理工学部航空宇宙工学科2年  
後藤拓也さん  
Takuya Goto

表現方法は十人十色にある、という部のススめ。

自分の好きな表現方法で、アートを楽しむ—それが藝術部のやり方だ。メンバーの作品は、写真、水彩、ちぎり絵、とバラエティに富んでいる。基本的に作品づくりは個人作業だが、週に1回顔を合わせて、作品を見せ合ったりおしゃべりをしたり。ほとんどが初心者だが、中には「小さい頃からずっと絵を描いてきた」というつわものも。

中でも、絵画教室に通っていたこともある中田さんはメンバーにとって「頼りになる先輩」大学から本格的に絵を描き始めた後藤さんは「いろんな技法を教わったり、目からウロコのアドバイスをもらったり、藝術部に入って良かった」と思ったそう。

仲間がいれば、もっとアートを楽しめる。彼らはそう教えてくれた。



思い思いのスタイルで、部室にて制作を行う彼ら。何に取り組んでも、楽しければOK! という部ゆえに、ユニークな作品がたくさん集まる。仲間の作品をフラットな視点で批評しあえるのも、一人ひとりが信念を持って制作に取り組んでいるからこそである。

### 書道は、日本が誇るアートのひとつです。

#### 書道部

八王子キャンパス



- 1 文学部日本文化学科3年  
金澤悠花さん  
Haruka Kanazawa
- 2 経済学部経営学科3年  
岩崎聖さん  
Satoru Iwasaki
- 3 経済学部経済学科3年  
中村由夏里さん  
Yukari Nakamura

苦悩も多いけど、その分達成感はひとしお。

書道部の部員の多くは、『創作』と呼ばれる活動に力を入れている。習字とは違って構成から書風まですべてフリースタイルのこの分野について「書く時間より考える時間の方が長いかもしれない」と語るのは、部長の岩崎さんだ。

「まずは紙とペンを使って、構成を練ります。先生の指摘を受けながら進め、OKが出て初めて筆をとるんです」

書き始めてからも納得いかず、完成までに1ヶ月以上を要するというから驚きだ。生みの苦しみと達成感が行き交う中で、やはり頼もしいのは先生の存在。「同じ筆を使っても、先生が引く線は抜群に上手い!」と、副部長の金澤さん。近い将来花開くであろう、先生とは違う個性に期待したい。



先人が残した手本を見ながら書くことに重きを置いた『臨書』に取り組む部員も。そのひとり、副部長の中村さん曰く「思うようにいかないのもどかしい。でも、書けば書くほどまよくなります」創作の場合は自分のリズムで進めるため、作風が変わってくることもあり面白い。



ハンドクラフト・アーティスト  
若野 忍さん  
Shinobu Moshino

1971年岐阜県生まれ。東京造形大学絵画科卒業。絵画・クラフト作品を中心にアーティスト活動を展開。帝京大学病院を始め、公共施設などの壁画や絵画作品を多数手がける。銀座などで定期的に個展も開催。

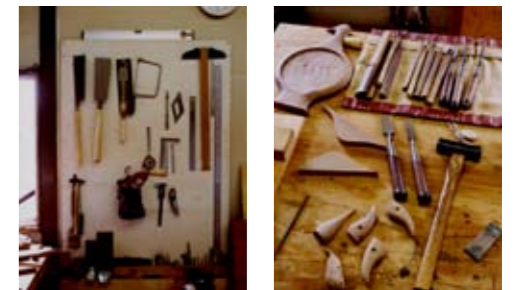
ふとしたきっかけから、  
絵画の道へ戻った。  
動物モチーフのクラフト作品や淡い色づかいの絵画。若野忍さんの作品は、見るものを包み込むようなあたたかさが魅力だ。彼は数々の個展を開く一方で、帝京大学医学部附属病院の小児病棟など、さまざまな公共施設へ作品を提供してきたハンドクラフト・アーティストである。

大学の頃は、絵画学科に所属していたという若野さん。卒業後しばらくは、美術と舞踏を織り混ぜたパフォーマンス集団で「自分の方向性」を探していたという。しかしある日、ふとしたきっかけで初心に戻り花の絵を描いてみたところ、意外にも作品に共感してくれた人がいた。大学の頃は、絵画学科に所属していたという若野さん。卒業後しばらくは、美術と舞踏を織り混ぜたパフォーマンス集団で「自分の方向性」を探していたという。しかしある日、ふとしたきっかけで初心に戻り花の絵を描いてみたところ、意外にも作品に共感してくれた人がいた。

見る人の気持ちを考えながら生まれた作品は、人と関わり合いながら、長生きをする。

## Handcraft

● ハンドクラフト



(右) 面白い質感が出るため、あえて彫刻にむいていない木を使うことも。(左) アトリエの名前「kiyata」はスリランカ語で「のこぎり」の意味。飛騨高山で頑固な職人さんから木工を教わった。

準備段階から、真剣勝負です。



7.14 (Tue)

### 配役を決めるオーディション

3日にわたって行われるオーディション。例えば動物の名前と乗り物の名前が書かれた紙を引いて、(パンダ×地下鉄など)そのリアクションを3人1組で行い別グループが当てるゲーム、10人11脚など、一見遊び?にも見えるゲームを通して、演出担当が資質を判断するのだそう。「今回は大きいホールで上演することが決まっているので、技術というよりも、度胸や声の大きさも重要視していますね」と、演出の市川さん。



7.30 (Thu)

### 配役後の台本読みと輪組(ミーティング)

台本を持ちながらの稽古が始まると、主役の斎藤さんを始め、役者陣の熱がどんどん入ってきた。演出家は、ジョークを交えながらときに厳しくダメ出しをする。輪組とは、舞台監督、大道具チームを交えて、劇場の配置確認などを行うミーティングのこと。この輪組後、小道具を持った通し稽古も行われた。休憩後、演出家の「10秒前」のカウントがかかると、一気に緊張感のある空気に!



8.20 (Thu)

### 舞台仮組みと通し稽古

この日は実際に舞台を設営する日。「仮組み」と呼ばれるこの作業は、どの公演の前にも必ず行われるという。部員たちの慣れた手つきで、見る見るうちに出来上がっていく舞台。作業が落ち着いたら、他の教室では役者が発声練習を始めたり、衣装チームが最終のツメを行ったりと各々の役割をこなす。15時より部員が一堂に集まって、仮組み後の舞台で通し稽古。やはり本番さながらの舞台で行う練習には、いつも以上に気合いが入る。



(右) 文学部史学科3年 市川守さん「お客さんに『おもしろかった』と言ってもらえる瞬間がなにより幸せ」(中) 同来住野裕樹さん「3年生は最後の夏公演。大きいホールと気持ちよくお別れしたいです」(左) 経済学部経営学科2年 斎藤真樹さん「役作りの作業は苦しくも楽しい。非日常を楽しめるのが演劇の醍醐味です」

ただ生きてさえいれればいい、とと来住野さん。一方、夏公演で脚本・演出を手がける市川守さんは演出家としてこう語る。

「細かい動きまで指示する方もいますが、僕は役者が舞台上で自由に動いて欲しいと思うタイプ。本番で、もし予期せぬトラブルに見舞われた場合、型にはまった稽古しかしていなかったら対応できませんしね」

ライブだからこそ、何が起るかわからない。それは、演劇の面白い部分でもある。「同じストーリーでも二度と同じ芝居が観られない」のが演劇の特長だと、3人も口を揃えて言う。

「芸術といえば、絵画や音楽などが思い浮かびますよね。いい作品は、心を豊かにする。それは演劇も同じです。感動して泣いたり、腹の底から笑ってくれたりする人がいる。そういう意味で、演劇もアートといえるのではないのでしょうか」と市川さん。

舞台は、データや書類のように保存できない。心に焼きつける芸術といえるのかもしれない。

八王子キャンパス  
演劇部 ヴィクセンシアター

年4回の公演を行う。公演ごとに部員は脚本・演出、監督、照明、衣装、役者、広報などにわかれる。それらのほとんどは立候補制のため、希望すればどの役割でも経験が可能。中には、学外でも演劇活動を行う積極的な部員も。



舞台の「仮組み」を行う部員たち。仮組みとは、事前に本番さながらの舞台を立ててみる。不具合がないか確認し、設営後は実際に稽古を行って照明などのスタッフや役者の動きなどを見る。

## やっぱり演劇は、アートでした。

試行錯誤しながら作り、時間をかけて稽古し、本番で勝負する。だからこそ一番繊細で、力強く、心に焼きついて離れない... そんなライブ感の強いアート、演劇の舞台裏に迫ります。

同じものは観られない、それが演劇の魅力。

セミの声が鳴り響く8月下旬の八王子キャンパス。演劇部のメンバーは、朝から資材を教室に運び込んでいた。9月5、6日に開催される夏公演に向けて、準備も佳境にさしかかったところだ。教室の隅まで「こっちに運んで!」「40分休憩です!」などと大きな声が響き渡る。

「文化系クラブの中でも、練習時に腹筋や背筋をする部なんてウチの他にないと思いますよ」部長の来住野裕樹さんは、そうにこやかに話す。発声と体力が命の演劇だけに、筋力トレーニングは欠かせないという。実際の稽古もハードだ。「階段が上り下りできないくらい激しい筋肉痛に見舞われることもありませう」と笑うのは、夏公演の主役に抜擢された斎藤真樹さん。

「9月に披露するお芝居は、ある劇団がシェイクスピアの『マクベス』という悲劇を演じる『劇中劇』です。剣で戦うシーンがあるのですが、僕は剣道の経験もないため、体力面でも見せ方も苦労しています」

役づくりだけでなく、脚本から演出に至るまで自分たちで行う彼らにとって、大切なのは先輩の存在。「2年生のとき、先輩の『その役で生きていけ』という言葉が印象的でした。舞台上ではその役が死なないう、

# 各キャンパスからすぐ行ける Art Spot Map

アート観賞、美術館…と聞くとどうしても堅苦しい印象があるもの。でも、実はみなさんの通う各キャンパス周りにいつでも気軽にアートを楽しめる場所がありました。

好きな時間と場所で楽しむアートのスポットのすすめ。

秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋：etc.と、いろいろと思いつくが、「芸術って何だか、敷居が高い」と思っている人は、少なくないのではないだろうか。しかし、帝京大学のキャンパスのまわりには、「思い立ったらすぐに行ける」美術館やギャラリーが数多く点在している。授業がない平日にふらりと足を運べるのも大学生ならではの特権だ。

お目当ての展覧会に足を運ぶだけが、美術館の楽しみ方ではない。例えば、カフェが併設されていたり、ミュージアムショップが充実しているアートのスペースでは、芸術作品だけではなく、空間そのものを楽しむ

ことで、楽しさも倍増する。お気に入りのアートのスペースを発見して自分なりの過ごし方を見つければ、きっとアートがもっと親しみやすくなるはずだ。それから、ちょっと遠出をして、全国各地のアートスポットを訪れてみるのも悪くない。島全体に作品が点在している瀬戸内海の島「直島」や、体験型の作品を数多く所蔵する「金沢21世紀美術館」など、ユニークな取り組みを行っているアートスポットは、全国から多くの観客を集めている。

また、新潟県の越後妻有地域の里山を舞台に繰り広げられる「大地の芸術祭」は、地域住民とアーティストが力を合わせて作品を作り上げているのが大きな特徴だ。最初は「アートなんてよくわからない」と尻込みしていた住民も、いまでは作品づくりにボランティアとして積極的に協力し、3年に一度の芸術祭を心待ちにしているという。

これらの取組みを見てみても、最近のアートの現場では、「親しみやすい」や「一緒に楽しめる」が重要なキーワードになっている。まずは、「アートって、こんなに楽しいものなんだ！」と気づいてほしいというのが、作り手の思い。ぜひ、自由な時間がたくさんある大学生のうちに、ふらりと美術館を訪れたり、ちょっとした旅気分分で、アートを楽しんでみてほしい。

## 学校帰りの新・癒しスポット!? アートで歴史を感じよう。

東京都23区内で初の区立美術館として開設された「板橋区立美術館」では、江戸時代の古美術や大正～昭和前期までの前衛美術作品などを展示。付近には乗蓮寺など、史跡も多く、お散歩がてら立ち寄ってみるのもよさそう。

【板橋区立美術館】  
東京都板橋区赤塚 5-34-27  
TEL:03-3979-3251  
開館時間 9:30～17:00 休日 月曜(祝日の場合は翌日)、展示替期間、年末年始  
観覧料 大学生400円(企画展によって異なる)



## 200組以上のアーティストによる大規模アートイベント。

八王子駅北口西放射線ユーロードをまるごとアートで埋め尽くすイベント「アート・ムーチョ」。オリジナル作品が並ぶアートマーケットやライブペインティングなどが賑やかに行われる。オリジナルであればプロ・アマ問わず出展も可能だ。

【アート・ムーチョ】  
東京都八王子市 JR 中央線八王子北口八王子西放射線ユーロード  
TEL:050-5204-4997 (アーティスト・サポート・カウンセラー)  
次回開催 11月14日(土)、15日(日) 11:00～18:00

## 誰でも気軽に利用できる、地域密着型ギャラリー。

西八王子駅前にある、フリーのレンタル空間「ギャラリートラウト」。ここでは、陶芸家、画家、書道家、写真家などによる個展が不定期で開催されている。大型美術館などはひと味違った、身近なアートを楽しんでみては?

【ギャラリートラウト】  
東京都八王子市千代町 2-20-3  
TEL:042-668-0123  
開館時間 11:00～19:00  
水曜休 観覧料 無料



## 圧倒的なコレクション数とユニークな企画展が魅力。

日本の公立近現代美術館の先駆的存在でもある「栃木県立美術館」。展示品は、栃木県を中心とする国内の作品とフランス、イギリス等西欧の近現代美術作品を要に、版画、挿絵本、写真、工芸を含め約8,500点余にも及ぶ。

【栃木県立美術館】  
栃木県宇都宮市桜 4-2-7  
TEL:028-621-3566  
開館時間 9:30～17:00 月曜定休  
観覧料 大学生 120円  
(企画展によって異なる)



## 広大な敷地の中で、世界中の美術に触れる。

【宇都宮美術館】では、「地域と美術」「生活と美術」「環境と美術」をテーマとした近現代美術やポスター、デザイン家具などを中心に国内外の作品を収蔵。約26ヘクタールの広大な施設の中で、自由にアートを感じよう。

【宇都宮美術館】  
栃木県宇都宮市長岡町 1077 TEL:028-643-0100  
開館時間 9:30～17:00 月曜定休  
観覧料 大学生 210円(企画展によって異なる)

## 見る者の5感を刺激する 枠にはまらないアート作品。

1989年のオープン以来、世界へアートを発信し続けているギャラリー「モマ・コンテンポラリー」。これまでに草間彌生などの展覧会を行い注目を集めた。現在は「カンガルー日和/A Perfect Day For Kangaroos」を開催中(10月17日まで)。

【モマ・コンテンポラリー】  
福岡県福岡市中央区今泉 1-13-11  
カルティス天神南2F  
TEL:092-715-0355  
開館時間 10:30～18:30(展示期間中)  
月曜、日祝日定休 観覧料 無料



## 福岡の中心街に位置する、初心者でも楽しめる美術館。

福岡県に関わる美術を収蔵の核としている「福岡県立美術館」には、2万冊を超える美術書を有する美術図書室も。10月10日～11月29日の間、近現代作家の名画79点を展示する「大原美術館コレクション展」を開催予定。

【福岡県立美術館】  
福岡県福岡市中央区天神 5-2-1 TEL:092-715-3551  
開館時間 10:00～18:00 月曜定休 観覧料 企画展によって異なる



福岡県立美術館外観  
古賀春江「窓」1927年福岡県立美術館所蔵



ベネッセハウス 撮影:山本紘

## 直島 (「ベネッセアートサイト直島」など)

### 世界に誇る現代アートの島 直島で、アートを満喫

瀬戸内海に浮かぶ直島は、島全体がアートスペース。安藤忠雄氏が設計したベネッセハウスを始め、地中美術館など見どころ満載。また、古民家などを改修し、アーティストが家の空間そのものを作品化した「家プロジェクト」も一見の価値ありだ。

【ベネッセハウスミュージアム】  
香川県香川郡直島町琴弾地 TEL:087-892-2030  
鑑賞料 1,000円

## 横浜 (「BankART Studio NYK」など)

### 都心からアクセスが便利な横浜で、アートを楽しむ。

美術館やギャラリーが点在する横浜。なかでも、ユニークなのが、1953年に建てられた旧日本郵船倉庫が、アートスペースに生まれ変わった「BankART Studio NYK」。様々なアートイベントや展示が行われる他、アートスクールも開講されている。

【BankART Studio NYK】  
神奈川県横浜市中区海岸通 3-9 TEL:045-663-2812  
入場料 無料(企画展によって異なる)



## 金沢 (「金沢21世紀美術館」など)

### アートに会う喜び、触れる楽しさを体験する。

2004年の開館以来、子供からお年寄りまで、圧倒的な支持を集めるのが「金沢21世紀美術館」。所蔵作品には体験型のものも多く、作品と一体になって、美術館を楽しむのが魅力だ。ここに来ればきっと、もっとアートが親しみやすくなるはず。

【金沢21世紀美術館】  
石川県金沢市広坂 1-2-1 TEL:076-220-2800  
観覧料 内容や時期によって異なる



撮影:中道淳/ナカサアンドパートナーズ  
提供:金沢21世紀美術館

## 新潟 (「大地の芸術祭 越後妻有 アートトリエンナーレ 2009」など)

### 日比野克彦さんも応援する 世界最大級の国際芸術祭

今回日比野さんの取材でも訪れた「大地の芸術祭」は、越後妻有地域の里山を舞台に、3年に1度、夏に開催される世界最大級の国際芸術祭。約350組ものアーティストが世界中から参加する。大地の芸術祭 2009 秋版も開催予定。旅気分アートで満喫するにはもってこいだ。

【大地の芸術祭 2009 秋版】  
越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町) TEL:025-595-6688  
作品鑑賞パスポート 大学生 2,000円(前売・当日同額)



李在孝「0121-1110-109061」撮影:宮本武典+瀬野広美 提供:大地の芸術祭実行委員会

## 青森 (「青森県立美術館」など)

### 世界的に人気のアーティスト、奈良美智は青森出身!

棟方志功や奈良美智、成田亨など、青森ゆかりのアーティストはどれも個性派揃い。県内にはいくつもの美術館があるが、なかでも、「青森県立美術館」は、2006年に誕生したばかり。奈良美智が手がけた巨大な「あおり犬」は館のシンボリック的存在。

【青森県立美術館】  
青森県青森市安田字近野 185 TEL:017-783-3000  
観覧料 大学生 300円(常設展)



## EXTRA ART SPOT

## 注目のアートのスポット、ご紹介いたします。

日本全国にはまだまだ、ユニークなアートのスポットが点在しています。近場の美術館にふらりと出かけるのはもちろん、ちょっと旅気分、アートを楽しむなんてのも、ワクワクするはず。ここでは、特におすすめ5つのスポットをご紹介します。



帝京大学体育局弓道部  
Teikyo Univ.  
JAPANESE ARCHERY CLUB  
目標はリーグ3部昇格、大会入賞。昨年度は、女子が全関東学生弓道手権大会の決勝トーナメント第2回戦進出。男子がIV部Bブロックの的中率第1位を果たした。部員は約22名で、うち女子が5名。

道場に一步、足を踏み入れると、張りつめた緊張感に思わず足がすくむ。静寂のなかで、ポイントの射る音が耳に心地良く響き渡る。弓道は流儀を重んじる日本古来の武道のひとつだけに、部を率いているのが台湾人留学生の許博堯さんだというのは意外だ。許さん自身も、こんなに弓道に魅了されるとは思っていなかったという。弓道を始めたのはもちろん、大学に入ってから。夢中でやっていたうちに主将になったが、「勉強はきちんとやっていたのか」と父親に叱られたことも。

「主将として部をまとめるのはやっぱり大変です。言語の壁もあるし、価値観の違いを感じることもある。それから、正座もちょっと苦手」と苦笑いをする。

そんな許さんが現在、最も力を入れているのが、弓道部の実力を底上げするための改革だ。「部内での実力差が大きいため、その差を縮めるために、まず練習方法を根本的に変えました。ようやく最近、結果が見えてきたところですよ。弓道の経験が浅いと的を射るときに迷いが出てくるし、打つときは的が見えていない。的中率を上げるためには、正しい姿勢で冷静に正確に射放つ必要がある。まず立居を意識させるために、上級生がひとりずつ下級生について指導にあたっています」

練習は週3回、夕方5時から始まるが、ほとんどの学生は、授業の空き時間を利用して、自主練習を行っている。礼に始まり、礼に終わる弓道部の練習。練習を終え、緊張感から解放された学生たちが、和気あいあいと笑顔でたわむれていた。

## HACHIOJI CAMPUS JAPANESE ARCHERY

礼節を重んじ、精神面での修練にもなるとされる日本古来のスポーツ、弓道。昭和57年に創立され、現在リーグ3部で活躍中の弓道部は、大会入賞を目指し、日々練習を重ねている。



## What's Up?

い	ま	、
何	や	っ
て	る	？

「今を一生懸命生きること。そうすれば、将来の方向性がきつと見えてくるはず」と話すのは、中日ドラゴンズのコンディショニングコーチ、住田ワタリさん。「ほんまは縦編で育ったんですけど」と笑う住田さんだが、実は野球経験はない。中学から大学まで、ラグビーにすべてを捧げ、卒業後も社会人ラグビーで活躍する…予定だった。

ところが、大学4年生のとき、住田さんに皮肉な運命が襲いかかる。相次ぐ怪我で、戦線離脱を余儀なくされたのだ。「ラグビーのない人生なんて考えられない」と、うなだれる住田さんを励ましてくれたのは、アスレティックトレーナー。その真摯な姿勢を見るうち、「こんな仕事が見てみたい」と、勇気がわいてきた。

それならば、「本場アメリカでスポーツ医学を学ぼう」と夢はふくらみ、渡米。大学に進学し、アスレティックトレーニング学科で3年間勉強し、持ち前の負けん気と明るさで、プロ野球のマイナーチームと、2年間の契約を結んだ。ラグビーではなく、

野球を選んだのは、アメリカでいちばん人気のあるスポーツだから。約30チームに履歴書を出し、ようやく手に入れた仕事だった。その後、夏はアメリカ、冬はドミニカで、トレーニングコーチとしての経験を積んだ。

「コンディショニングコーチは、怪我から実践復帰させるのが目的なので、スポーツのジャンルは問いません。もちろん、スポーツによって特性は違うし、怪我の特徴も異なります。競技経験があることはプラスにはなりませんが、絶対条件ではない。僕自身、野球選手の怪我の特性は、チームに入ってから学びました」

現在、シーズン中は常時7、8人の選手たちと向き合っている。「怪我をした選手が、無事復帰できるように、医師とトレーニングコーチと連携しながら、リハビリやトレーニングのメニューを考えています。いつ頃復帰できるかを、選手はいちばん気にするので、計画を明確に提示するようにしますね。コンディショニングコーチに大切なのは、コミュニケーション。僕を信頼してもらったことが、まず第一です」

## Surprise Us.

先	生	が	、
教	え	て	く
れ	る	コ	ト

### 細胞発生学から柔道整復学へ。

「柔道整復学科のこの仕事は天職だと思おう」と笑顔で語る、塩川光一郎教授。もともとバイオサイエンス学科で教鞭をとっていたが、2008年、宇都宮キャンパスに医療技術学部柔道整復学科が新設されたことを機に学科長に就任した。専門は分子発生学。九州大学と東京大学で長年研究を続け、アフリカツメガエルを使った細胞発生学の研究では、国内外で高い評価を得てきた。その塩川教授が「なぜ柔道整復学？」と、当然のことながら疑問符が浮かぶが、塩川教授の回答は明快だった。

「小学校のとき、鉄棒から飛んだ際に着地がうまくいかなくて、右ひじが外側に曲がってしまいました。そこで、山奥の柔

道整復師の先生にかかったところ、たった1回の施術で元通りになった。その経験があるから、私は柔道整復師の重要性を、広く世に伝えたいと考えているのです」

柔道整復術とは、柔道から派生した日本古来の医療で、手術をせずに、打撲や捻挫、骨折、脱臼などを治す技。メスやレントゲンを使わない独特の施術法は、身体への負担も少なく、短時間で治るのが利点だ。しかしながら、優れた技術を裏付ける理論体系が確立されていなかったため、医療技術として、社会に広く認知されるには至らなかった。

「帝京大学の柔道整復学科は、柔道整復術の学問としての地位を築くことを学科目標に掲げています。合わせて、地域密着型でグローバルな柔道整復学科

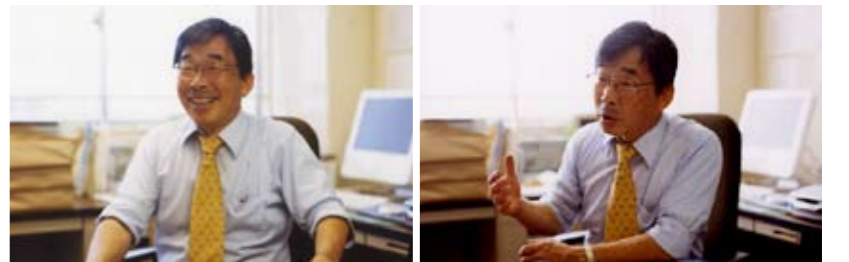
## 細胞の気持ちがわかる柔道整復師をめざしてほしいですね。

帝京大学医療技術学部柔道整復学科 学科長  
帝京大学 理工学部バイオサイエンス学科

### 塩川光一郎 教授

Koichiro Shiohara

1941年福岡県生まれ。1963年九州大学理学部卒。武田薬品工業に3年間、ニューヨーク血液センター研究所に2年間勤務。東京大学大学院理学系研究科動物学教室教授を経て、現職。専攻は発生生物学・分子生物学。理学博士。



を、栃木県から発信していきたいと考えています。柔道整復術は世界に通用する普遍的な治療法。活躍の場をもっと世界に広げていくべきなのです」

柔道整復学科では、地元の柔道整復師と学生たちが、互いに切磋琢磨できる場として、近く学内に、接骨院も建てる予定だという。

「ここ栃木県で、柔道整復学を学ぶことができる学生は、とても恵まれていると思う」と、柔道整復学科の未来について、熱く語る塩川教授。その授業も、実は「非常に熱い」のだと語るのは、大学院理工学研究科2年の高井淳一さんだ。

「先生はとにかく元気。きびしいけれど、面白い。講義もアクションを織り交せて、飽きるといことがありません。怒られたりもするのですが、いつもそのあと、君を怒ったのは、こういう理由からなんだよと、きちんとフォローしてくれるんです」

塩川教授の授業では、ときには「雷が落ちる」。これは理工学部の学生たちにとっては、常識。たとえ広い講義室でも、塩川教授の厳しい目から逃れることは、できない。

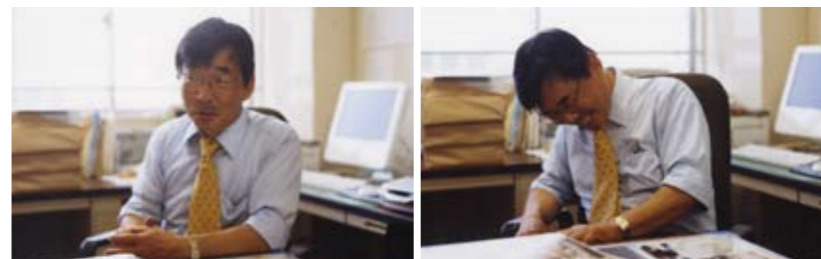
「趣味でパイオリンをずっと続けていて、オーケストラでも演奏をするので、暗くてもどこで誰が何をしているのかは、すべてお見通しなんです。もちろん、学生の態度が悪ければ注意

をする。それは、人間が好きだから。学生たちを愛しているからです。医療従事者になるということは、世間の人たちの幸せが、その腕にかかっているということ。そのことを、早くに自覚してほしい。だから、学生たちには一生懸命勉強するように、常々話しているんです」

兼任しているバイオサイエンス学科で、生物の基礎から最先端のバイオまで幅広く指導を行ってきた塩川教授は、学生たちに日頃から「細胞の気持ちわかる柔道整復師になろう」と呼びかけている。これは、自身の娘が骨髄炎をわずらった41年前の経験から導き出された答えなのだと言っている。

「娘が0歳のとき、左手が動かなくなる原因不明の病気をわずらい、病院を転々としたことがあるのですが、いくつかの病院をめぐらうちに、ある病院の院長先生に出会いました。今では完全に治していただいたのですが、回復期に入ったあの日、診察室でその先生は「いまの状態の骨には、X線をあてるべきではない」とおっしゃられ、写真を撮るのを控えられました。私はその医者者としての配慮にいたく感動しました。そのような言葉が自然に出てくる先生は、医者の鑑だと思えます」

「人の痛みがわかる」、そして「細胞の気持ちわかる」柔道整復師になるためには、「生命



の意味を深く理解し、人が生きる意味を考え続けることが大切」と話す塩川教授。最後に、「人は何のために生きるのか？」という、いささか漠然とした質問を投げかけてみると、またしても明かな答えがえがえってきた。「音楽や美術を通して、世界と関わるという方法もあるでしょう。でも、私は医学・生物学についても長年考えてきた。人のために汗を流すこと。それが、私たちの生きる道です」

### INTERVIEW

中日ドラゴンズ コンディショニングコーチ

## 住田ワタリさん

僕が、あなたの復帰をいちばん望んでいる。選手にはそう、伝えるようにしています。

Wataru Sumida

帝京大学文学部社会学科2000年卒。大阪府生まれ。在学中はラグビー部でフォワードとして活躍。卒業後はアメリカ・アーカンソー州立大学アスレチックトレーニング学科に入学し、スポーツ医学を学ぶ。現在は中日ドラゴンズのコンディショニングコーチを務める。背番号は94。

# ART

「いろいろな国の人たちの笑顔に出会えます」

推薦人 福岡医療技術学部理学療法学科4年 古永眞紀さん



▲「NO TRAVEL, NO LIFE」 須田誠

サラリーマン生活にピリオドを打ち、2年間、世界31カ国の路上を歩いた著者が綴った言葉&写真集。色彩溢れる風景や、各国の人々の豊かな表情が鮮烈に表現されている。

▶「NO TRAVEL, NO LIFE」 須田誠 (A-Works) ¥1,680



この夏、沖縄の八重山諸島を旅してきたという古永眞紀さん。長期のひとり旅は初めての経験で、最初は不安でいっぱいだったというが、旅先で友だちもでき、思っていた以上に得るものが大きかったと振り返る。「自分の気持ち次第で、ものごととは切り拓ける。行動力とか自由ってすごく大切。それをみんなにも伝えたいな」

文章で伝えてくれる本がある」と古永さん。須田誠の写真集『NO TRAVEL, NO LIFE』は、特にお気に入りのアートのブックだ。「旅の途中で出会った人たちの笑顔が、すごく印象的。この本を開くと、子どもからおじいちゃんまで、いろいろな国の人たちの笑顔に出会えるんです」

## 旅するフォトグラファー、須田誠のデビュー作

理学療法士になるという目標をかなえるため、日々勉強を続けていた古永さんだが、一方で、須田誠のような「自由な生き方」にも憧れるのだとか。「20代をどう生きるかは、自分のなかでも大きなテーマ。これからゆつくり考えていきたいですね」

# MUSIC

「癒されるリズムで、おすすめです」

推薦人 福岡医療技術学部作業療法学科2年 野口智史さん



▲「東京ホテル」 SOFFet (rhythmzone ¥840)

2008年1月にリリースされたSOFFetの13枚目のシングル。都会で生きるのにちょっと疲れたすべての人を優しく包みこむような歌詞が印象的。

## 耳になじむ感じが心地いい ちよっと新鮮なラップ

「邦楽から洋楽まで、何でも聴く」と話す音楽好きの野口智史さん。おすすめは、2人組の男性スウィング・ラップ・ユニット「SOFFet」。ラップというハードなイメージがつきものだが、「SOFFet」の音楽はひと味違う。R&B、ジャズ、カントリ、レゲエ、ラテン、ヒップホップなど、あらゆる音楽を織り交ぜた独自の世界―それが、「SOFFet」の魅力なのだ。

野口さんも初めて「SOFFet」を聴いたとき、耳なじみの良さに驚いたのだとか。「ラップなんだけど、すごく癒されるようなリズムで感動しました。まだ聴いたことがない人は、ぜひ一度聴いてみてください」

ところで、宮崎出身の野口さん。福岡でのひとり暮らしは2年目に入った。情報がたくさん行き交う福岡の街は「すごく気に入っている」のだとか。「高校時代よりも、いろんな音楽を聴くようになりましたね。CDショップで試聴して探すこともありましたが、友だちから影響を受けることも多い。いろんな地域の出身者が集まっているから、とても楽しいですよ」

## Our Recommend!

みんなの、カルチャー

全国にある帝京大学のキャンパスで学生生活を送るみなさんに、友だちにもすすめたい、お気に入りのひとつ、聞かせてもらいました。お気に入りの場所や映画、音楽や本。そこには、それぞれの思い出と、大学生生活の現在がいっぱい詰まっています。

「物語の最後には、あっと驚く展開が…」

推薦人 医療技術学部臨床検査学科4年 伊藤千恵子さん



▲「シークレット ウィンドウ コレクターズ・エディション」(ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント) ¥1,980



©2004 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

## 「シークレット ウィンドウ」

男はいったい何者なのか？ 本当の狙いは何なのか？ 全編に張りめぐらされた謎解きの伏線が明らかになったとき、驚愕の結末が…。

伊藤千恵子さんのおすすめは、ジョニー・デップ主演の映画「シークレット ウィンドウ」。この物語は、人気作家モート(ジョニー・デップ)の前に、謎の男が現れたことから始まる。「俺の小説を盗作したのだから、俺の名前で出版しろ」と迫る男を、モートは身に覚えのない話と軽くあしらう、たちの悪いストーリーカーと、相手にもしなかった。しかし、男の行動は徐々にエスカレートしていき…原作はステイブン・キング

「秘密の窓、秘密の庭」だが、結末は小説とはひと味違う。「とにかく、全編にわたってスリリング。特に最後が予測不可能な展開で、驚きます！」と伊藤さんはほほほと笑む。「怖い映画はあまり好きではない」と話す伊藤さんだが、「シークレット ウィンドウ」は友だちのすすめで「ドキドキしながら観た」のだとか。最後が肝心のミステリーにつき詳細はここではお伝えできないが、「イチオシの1本」と伊藤さん。気になる最後の展開、「自分なら見破つてみせる」という方はぜひ、挑戦を。

## スリリングで予測不可能な結末が、気になる！

「部活をやっていた頃を思い出しました」

推薦人 経済学部経営学科4年 遠田真吾さん



▲「一瞬の風になれ 第一部 『イチニツイテ』」 佐藤多佳子(講談社 ¥1,470)

信じあえる仲間たちに支えられ、強力なライバルと戦いながら、目標に向かって、ひたむきな努力を重ねていく、主人公の新一の姿が感動的。

## 思わず胸が熱くなる、とっておきのスポーツ小説

「普段はあまり本を読まない」という遠田真吾さんが、思わず引き込まれたと話すのは、神奈川県の高校陸上部を舞台に繰り広げられる青春スポーツ小説「一瞬の風になれ」。最初は、書店でたまたま手にとり、何気なく読み始めたのだというが、たちまち、その世界に夢中になった。三部作の長編ながら、1、2週間で読破。「部活をやっていた頃のことを思い出して、懐かしかったですね。親近感が持てる話だし、主人公の気持ちに、すごく

近づいた」と彼は話す。

遠田さんは、小学校から高校までずっと、野球とサッカーの練習にも耐え、チームメイトと助けあひながら、団結して、一つひとつ目標をかなえていく、そんな毎日を送っていた。「一瞬の風になれ」を読んでいたら、その頃のことを、甘酸っぱくよみがえってきたのだという。大学に入学後は、部活をやめ、バイクの免許を取り、「友だちとツーリングをするのが楽しい」のだそう。でも、今でもときどき、友人たちと草野球をする。「あの頃のこと」は、大切な思い出だ。

# MOVIE

# BOOK

QUESTION

「脳神経外科」の手術って、どんな感じなんですか？

なんだか難しいような、ちょっと怖いような…ふだんあまり身近に感じることの少ない「脳神経外科」の病気でどんなもの？ 脳外科の手術ってどんな感じ？ 頭を切らなくても治せるってほんと？ 最先端の治療法に日々挑み、第一線で活躍する脳神経血管内治療のスペシャリストに聞きました。

ANSWER

実際に開頭する手術ではなく、血管の中から透視下で手術をしています。



上野俊昭 Toshiaki Ueno  
帝京大学医学部脳神経外科准教授  
1989年東京大学医学部医学科卒業。東京大学医学部附属病院、東京警察病院脳神経外科での勤務、カリフォルニア大学助教授を経て、現在に至る。これまでに約600例の脳血管内手術の経験を有する。

脳神経外科に興味を持ったきっかけを教えてください。

Dr.: 脳は、モノを考えたり、人間の中で一番中心になる場所だということに興味がありました。きっかけは、学生の頃に実習で見た脳神経外科の手術です。顕微鏡を使って、未知の世界である脳の奥へ奥へと入っていく。その非常に繊細な技術を美しいと感じ、魅了されました。

脳の病気でどんなものがありますか？

Dr.: 私が治療の対象としている疾患で多いのは、脳卒中です。脳卒中というと、20年ほど前は脳出血が多かったのですが、食生活の変化などの影響で今は脳

梗塞が多いですね。脳梗塞以外に動脈瘤の治療も行います。動脈瘤は、クモ膜下出血の最大の原因となります。クモ膜下出血という言葉はみなさんも聞いたことがあると思いますが、死亡率が約4割もある、恐ろしい病気なんです。

これらは発病してから気づくのがほとんどのパターンですが、最近CT検査で見つかるケースもあります。突然の頭痛や手足の麻痺、半身のしびれ等がある人は、一度検査を受けてみた方がいいかもしれません。

では、先生の専門は？

Dr.: 脳動脈瘤・脳梗塞などの血管障害が見つかったとき、今ま

では開頭して脳の中を顕微鏡で直接見ながら手術をしています。ですが、脳には神経など繊細な部位もたくさんあるし、脳の奥深くに血管障害がある場合の手術は、危険性をともないます。そこで新たな治療法として、マイクロカテーテルと呼ばれる細い管を太ももから入れて、脳の血管まで到達させ、透視下での手術が行われるようになりました。

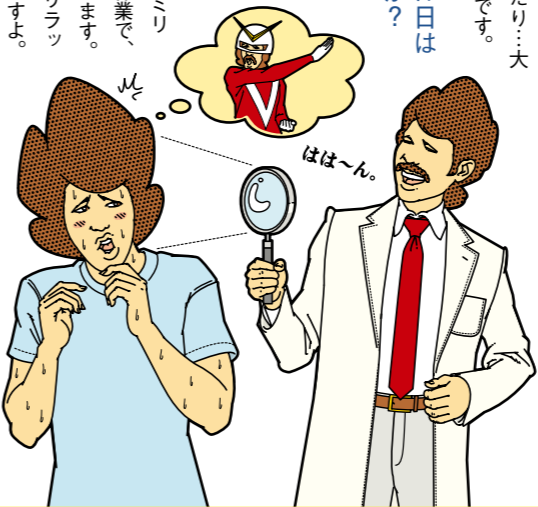
動脈瘤の中にプラチナコイルを詰めたり、動脈硬化で細くなった血管を、金属の網でできた筒（ステント）で広げたりする治療です。この脳血管内治療、といわれている最先端の技術が、私の専門です。

脳神経外科の技術は日々進歩しているんですね。

Dr.: 今、脳の治療は血管の中から行うことができます。そんなふうになんか難しいといわれていたことが今は実現していたり、今は難しくても2年後には治療できるようになっていたり…大きな可能性のある分野です。

ところで先生、休日は何をしていますか？

Dr.: 休日はそんなに多くはないのですが、子どもたちとテニスをしたり、なるべく体を動かすようにしています。手術は1ミリ単位の非常に細かい作業で、ものすごく神経を使います。その分、休みの日はリラックスして過ごしていますよ。



# Notice Board.

大学からのお知らせです

## Accounting Report

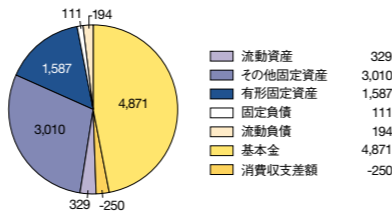
平成20年度の会計をご報告します

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>貸借対照表 平成21年3月31日 (単位:百万円)</b>			
<b>資産の部</b>			
固定資産	459,665	451,378	8,287
有形固定資産	158,703	135,369	23,334
その他の固定資産	300,962	316,009	-15,047
流動資産	32,951	34,936	-1,985
<b>資産の部合計</b>	<b>492,616</b>	<b>486,314</b>	<b>6,302</b>
<b>負債の部</b>			
固定負債	11,096	10,986	110
流動負債	19,417	13,616	5,801
<b>負債の部合計</b>	<b>30,513</b>	<b>24,602</b>	<b>5,911</b>
<b>基本金の部</b>			
基本金の部合計	487,141	461,836	25,305
<b>消費収支差額の部</b>			
翌年度繰越消費収支超過額	-25,037	-124	-24,913
<b>消費収支差額の部合計</b>	<b>-25,037</b>	<b>-124</b>	<b>-24,913</b>
<b>負債・基本金・消費収支差額の部合計</b>	<b>492,617</b>	<b>486,314</b>	<b>6,303</b>
<b>主要財務指標</b>			
項目	本学	全国平均	差異
固定比率	99.5%	100.0%	-0.5%
流動比率	169.7%	247.9%	-78.2%
自己資金比率	93.8%	85.3%	8.5%
総負債比率	6.2%	14.7%	-8.5%
負債比率	6.6%	17.2%	-10.6%

- 老朽化がすすんでいる教育・研究施設の改築を積極的に進めています。(18年度:新図書館竣工/20年度:板橋本院竣工)
- 板橋本院竣工の関連で一時的に流動負債が増加しましたが、借入金の残高はありません。
- 将来に亘って安定した教育・研究を維持するため、基本金および自己資金の増強に努力しています。  
※基本金比率 97.8%※自己資金比率 3.8%
- 財務内容の健全性確保に常に努力しており、引き続き良好な水準を維持しております。

尚、平成20年度の財務情報は、私立学校法47条の規定に基づいて帝京大学本部会計課に備置き、利害関係人の閲覧に供しております。

平成20年度資産の構成(単位:億円)



## Championship

全日本学生空手道選手権大会  
女子組手個人の部で優勝

去る6月21日(日)、日本武道館にて第53回全日本学生空手道選手権大会が開催され、本学空手道部の小林実希(2年)が女子組手個人の部で優勝した。また、同種目で葛西美由紀(3年)、男子組手個人で香川秀允(4年)、男子形で加藤葵(1年)がそれぞれベスト4に入った。

## Award

チアリーディング部  
関東学生選手権3位入賞

去る6月13日(土)、14日(日)、代々木第一体育館にて第11回関東選手権大会(兼日本選手権地区予選)が開催され、本学チアリーディング部が大学部門のディビジョン1(トップチーム)で見事3位入賞。ディビジョン2(セカンドチーム)でも帝京Aが1位を獲得した。

## Editor's Note

最近、Flairへのお便りをいただくことが増えてきました。お便りをくださった皆様、ありがとうございます。我々編集スタッフは、そんなお手紙や「面白かったよ」という言葉が何よりの栄養剤です。また、秋からはFlairのモバイルサイトも開設し、毎号体験型のワークショップも行っていく予定ですが、これらが学生にとってなんらかの気づきとなることがあれば、こんなにうれしいことはありません！さて今号の特集『アート』はいかがでしたか？アートは特別なものではなく、何かを伝えるための手段であるという日比野さんの言葉どおり、もっと身近で気軽に楽しめるものなのだを再認識しました。ふだんから身近なアートにふれて、五感をピカピカに磨いていきたいものです。

See You  
Next Issue!!

09年12月10日 Vol.76 配布予定

## Championship

全日本学生柔道優勝大会  
女子5人制部門で優勝

去る6月27日(土)、日本武道館にて平成21年度全日本学生柔道優勝大会(男子58回、女子18回)が開催され、本学女子柔道部が女子5人制の部門で4年ぶり4度目の優勝を果たした。大会の様子は、社団法人全日本学生柔道連盟のホームページから見る事ができる。



## Staff Credit

Produce モーグリーン	MO GREEN
Planner 須藤亮 (MO GREEN)	Ryo Sudo
Illustrator Shu-Tang Grafix 中村純司	Shu-Tang Grafix Junji Nakamura
Photographer 阿部 健 押尾健太郎 平野太呂	Takeshi Abe Kentaro Oshio Taro Hirano
Editor 香川優喜 仲野聡子 (MO GREEN) 高橋和季 (MO GREEN) 遠藤日和 (MO GREEN) 山本素平 (MO GREEN)	Yuki Kagawa Satoko Nakano Kazuki Takahashi Hiyori Endo Shuhei Yamamoto
Art Director 武田昌也 (MO GREEN) 井口 創 (MO GREEN)	Masaya Takeda So Iguchi
Designer 西原幹雄 (MO GREEN) 吉田 学 (MO GREEN) 大川方未 (MO GREEN)	Mikio Nishihara Gaku Yoshida Masami Okakawa
Publisher 帝京大学本部 大学PR推進室	TEIKYO University PR Section

## Flair

発行月: 2009年9月(年4回発行)  
発行: 帝京大学本部大学PR推進室  
〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1  
TEL 03-3964-4162 FAX 03-3964-9189  
E-mail: post@med.teikyo-u.ac.jp  
URL: http://www.teikyo-u.ac.jp/flair/  
ご意見・ご要望をお待ちしております。  
郵送またはFAX、E-mailにてお寄せください。  
© 帝京大学 2009 禁・無断転載

## ついにオープン!

毎号、さまざまなテーマでみなさんの好奇心を刺激してきた Flair が、このたびついにモバイルサイトを開設。誌面と同じくらい、にぎやかなページになりました!

### 1 Flair Plus

毎回、楽しい取材のこぼれ話がいっぱい。

Flairで外せないのが「インタビュー取材」。毎回面白い話がたくさんあるのですが、残念ながら誌面の都合上すべては載せられず…。そんな取材の「こぼれ話」を、ここで一挙公開します。

### 2 Flair WorkShop

フレアワークショップの参加はこちらから。

今秋からはじまる、Flair Workshopの告知ページを設けました。ゲストのプロフィールや当日のスケジュールなどが確認できます。参加表明も、モバイルからお気軽に。

### 3 Flair Voice

フレア編集部員の、つぶやきが聞こえます。

キャンパスを走り回りながら取材を行うフレアスタッフ。一度くらいは、見かけたことがあるのでは? そんなスタッフが取材中に感じたことや、制作秘話などをブログ形式で掲載します。

### 4 Question

帝京大学の学生は、今どんなことを考えてる?

「アルバイトは週に何回?」「今期のテストはどうだった?」など、ちょっと気になるみんなの様子。アンケート回答後はすぐに統計を見ることができ、帝京大生の「今」が瞬時にわかります。

### 5 待受画像プレゼント

フレアにまつわる待受画像をプレゼント。

さまざまなメディアで活躍中の写真家たちが、今までフレアの表紙やポスターをたくさん飾ってきました。そんな素敵な写真が、このたび待受画像に。ぜひダウンロードしてください。

## バックナンバーから最新情報まで、フレアのすべてが詰まったモバイルサイト。

いつでもどこでも気軽に見られるのが、モバイルサイトのいいところ。このモバイルサイトには、本誌で紹介しきれなかったインタビューや、制作スタッフの裏話など、ちょっと空いた時間を使って、さらに Flair を楽しめる情報が満載です。その他にも、モバイルというツールの特性を活かしたコンテンツが盛りだくさん。例えば「Want!」は、サークルの人員募集やイベントの告知などが行えるページ。学生同士のコミュニケーションの場としても、どんどん利用してほしいと思います。まずは一度、アクセス!



※携帯電話の機種によってはご覧いただけません。また、ご使用にはパケット通信料がかかりますので、パケット定額制を推奨いたします。



Flair は…

- Flair Plus | Flair Workshop  
Flair Voice | Question  
待受画像 | Want! | 本誌情報

- Flair Plus こぼれ話
  - 特集 日比野克彦さん
  - 卒業生住田ワタリさん
- Flair Workshop 体験型ワークショップ
  - Flair Workshop とは
  - 第1回は写真家平野太呂さんとジン(写真集)をつくらう
- Flair Voice 編集部によるブログ
  - Flair ケータイサイト完成です。
- Question みんなはどう?
- 待受画像プレゼント

第2回参加者募集します!

過去レポート

過去投票結果一覧

Flair テイストたっぷりのケータイ待受画像プレゼント!

Want!

Flair への要望、告知したいことなど、みんなの意見を教えてください。

本誌情報

- 本誌を読む
- Next Issue

→ PAGE TOP

Copyright ©2009 Teikyo University. All Rights Reserved.

※コンテンツは予告なく変更する場合があります。

誌面の枠を飛び越えて、モノづくりのワクワク感を共有できる、体験型イベントです。

現在予定しているコンテンツは、「ドラムサークルでアンサンブル」、「フードディレクターと料理をつくらう」など、バラエティに富んだラインナップ。「興味がない分野だから」、「やりたいことが見つからないから」

という人も、参加してみれば、何か新しい発見があるはず!

参加募集の詳細については、新たに開設されるモバイルサイトなどで随時告知をしていきますので、こまめにチェックしてみてください。なお、ワークショップの様子は、「Flair」誌面でも取り上げていく予定。参加希望者は、席に限りがありますので、お早め!

## 2

## 第2回開催予告 プロドラマー酒井磨さんと ドラムサークルをしてみよう

### WHAT'S ドラムサークル?

ドラムサークルとは、アメリカのロサンゼルスが発祥といわれる、ノンバーバル(非言語)のコミュニケーション方法。具体的にはファシリテーターという指揮役が先導しながら、参加者がパーカッション楽器のジャンベやシェーカーを演奏して、全員でセッションを楽しみます。人数、年齢を問わず、セラピーとして用いられることもあるそう。

酒井さんが行うドラムサークルは、バグパイプ、ポイバ、手作りのシェーカーなどを使って、どんな人でも楽しめる仕掛けがいっぱい。ぜひ、ドラムサークルでしか味わえない体験を試してみよう。



酒井磨さん Maro Sakai  
ミュージシャン

80年代に自身のバンドデビューを機に、音楽の世界に携わる。近年はプロドラマーとして活躍。その傍ら、ドラムサークルの活動に積極的に携わり、そのファンを増やしている。

●開催日  
**2009 11.8 (SUN)**

現場で活躍中のアノ人と  
いろいろな体験をしよう。

かつこいい写真や、おもしろい本。好きなバンドの曲や、かわい雑貨…など、みなさんの心を魅了するものは世の中にたくさんあるはず。それらの作品が出来上がるまでにはどのような工程が必要で、制作者のどんな想いが込められているのか…なんて考えたことはありますか?

そんなクリエイティブが生まれる秘密を解き明かし、「モノづくりって、楽しい!」「こんな楽しい活動をしている人がいるんだ!」と思わせてくれるのが、今秋から始まる「Flair Workshop」です。毎回さまざまなシーンで活躍中のゲストをお招きし、彼らの貴重な体験談などを伺いながら、自分たちも一緒にやっていくいろいろなことにチャレンジできるこの新企画、

## 1

## 当日はどんなことをするの?



### 1

#### ジンについて説明します。

このジンづくりの回に参加される方には、デジカメをご用意いただけます。都内某所に集合後、平野さんからジンについて説明。今回は1冊のジンを参加者全員で製作する予定です。(参加者には1冊ずつお持ち帰りいただけます。)



### V V V

### 2

#### 撮影に出かけます。

説明後は、ジンの素材となる写真を撮影しに出かけます。写真はほとんど未経験のひとでも、全然構いません! 写真家として活躍する平野さんの撮影姿も、もしかしたら見られるかも!?



### V V V

### 3

#### ジンを製作します。

撮影から帰ったら、みんなが撮った写真を紙に出力し、コピーを使って誌面を作ってゆきます。その後、ホチキスで製本。世界にたった1冊のジンができるまでを、ぜひ一緒に体験してみませんか。

# Flair Workshop

"Make Something From Nothing"

## 2009年秋から、開催!

今秋から年4回にわたって開催される「Flair Workshop」は、毎回多彩なゲストを呼んで、みんなと一緒にいろいろなものを作ったり考えたり楽しんだりするイベント。ワクワクする企画が満載です。

### ● 応募のしかた

ワークショップへの応募は、右のQRコードから。空メール送信後、(flairworkshop@flair-t.com宛) 応募フォームにて申込みができます。応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。



※ドメイン指定受信・拒否等の設定を行っている場合は、flairworkshop@flair-t.comからの電子メールを受信可能な状態に設定してください。

## 第1回は…写真家平野太呂さんと ジン(写真集)をつくらう



### WHAT'S ジン?

「ジン」とは、「ファンジン」の略語。「ファンジン」とは、非商業的なアマチュアマガジンのこと。90年代にはアメリカのスケートカルチャーとともに、アンダーグラウンドに発展してきました。基本的なフォーマットはA5サイズ。A4用紙にプリントして半分に折り、ホチキスで留めるのがスタンダードな作り方です。第1回目のフレアワークショップは、「10年以上前にジンと出会って以来、今でもたびたび作っている」という写真家の平野さんからお話を聞きながら、実際にジンを作ってみるプログラムです。



平野太呂さん Taro Hirano  
写真家

1973年東京生まれ。武蔵野美術大学映像学科卒。2000年よりフリーランスとしてファッション誌やカルチャー誌、広告、CDジャケットの撮影などで活躍。No.12 GALLERYの運営も。

●開催日  
**2009 10.4 (SUN)**

●開催地  
**都内某所**